

<地理歴史・公民>科 学習シラバス

科 目	歴史総合	学年・コース	1 年生	単位数	2 単位	教科書	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来 (第一学習社)
学習の到達目標		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主 生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。					
評価の 観 点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む力		
評 価 の 内 容	世界と其中的の日本を広く相互的な視野 から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる 近現代の歴史を理解するとともに、諸資料 から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、 まとめる技能を身につけている。		近現代の歴史の変化に関わる事象の意義や 特色などを、概念などを活用して多面的・多 角的に考察したり、歴史的課題を把握し効果 的に説明したりする力を身につけている。		よりよい社会の実現を視野に課題を 的に追究・解決しようとする態度や、 的・多角的な理解により日本国民とし 自覚、他国尊重の理解などを身につけ る。		
評 価 の 方 法	・学習活動における発言内容 ・予習や復習、課題への取組状況 ・授業ノート、長期休業中課題 ・定期考査		・学習活動における発言内容 ・予習や復習、課題への取組状況 ・授業ノート、長期休業中課題 ・定期考査		・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取組状況 ・授業ノート、長期休業中課題		
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 方 法	
						A	B
1 学 期	4	第1部 歴史の扉 1 歴史と私たち 2 歴史の特質と資料	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や世界の歴史とつながっている ことを理解する。 ・日本や世界の遺物、文書、図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。			○	○
						○	○
	5	第2部 近代化の世界と日本 第1章 近代化と私たち 近代化への問い	・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。				○
		第1節 18世紀のアジアの繁栄	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジア の経済と社会を理解する。			○	○
	6	第2節 工業化の進展と国民国家の建 設	・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理 解する。			○	
2 学 期	6	第3節 結び付く世界と日本の開国	・18世紀後半以降の欧米の市民革命、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国 民国家の形成について学ぶ。			○	
		第4節 帝国主義とアジア諸国の変容	・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理 解する。			○	
	7	近代化と現代的な諸課題	・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、近代化 の歴史を考察する。				○
2 学 期	8 ・ 9	第2章 国際秩序の変化や大衆化と 私たち 国際秩序の変化や大衆化への問い	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。			○	
		第1節 第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦の推移と世界に与えた影響、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。			○	○
	10	第2節 経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。			○	○
	11	第3節 第二次世界大戦後の世界と日 本	・第二次世界大戦の推移と世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響 について学ぶ。			○	
	12	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸 課題	・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に 関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現する。				○
3 学 期	1	第3章 グローバル化と私たち グローバル化への問い	・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。				○
		第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界 の台頭	・脱植民地化、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などから国際政治の変 容を理解する。			○	○
	2	第2節 世界秩序の変容と日本	・市場経済の変容と課題、冷戦の変容と終結の背景を理解し、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割 などを多面的に考察する。			○	○
	3	現代的な諸課題の形成と展望	・持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理 解する。			○	
学習のポイント		・授業中の板書を確実に書き写し、歴史の流れが理解できるように努力する。 ・多角的な視点から歴史を捉え、各国のつながりを理解できるようにする。 ・過去の歴史と現代の出来事をつなぐ意識をすることで、学習したことを生活に生かせるよう努める。□					

三体的に

態度

と主体
多面
ての
たてい

観点

C

○

○

O

○

○

○

○